





100g 300円 またべん ローソン 185円	
C Urban and Regional Management Course, Department of Business and Economics, 17 School of Business and Economics, Nippon Burri University	
NBU 地域マネジメントコース	
地域のお宝を発掘しよう	
2 発掘したお宝を磨こう	
3 お宝をみんなに知ってもらおう	
C Urban and Regional Management Course, Department of Business and Economics, 19 School of Business and Economics, Nippon Burri University	(a)
サービスラーニング Co講義は、豊後大野市において、自然やジオパーク、 伝統・文化、地をのちのを生かした観光資源や課題を発 見なえの理解に基づいて、説得力のある意見表明を行 える能力を養うことを目的とっこ ジンジンジンジンジンジンジンジンジンジンジンジンジンジンジンジンジンジンジン	
School of Business and Economics, Nippon Bunri University 21	Ē
Bコース:秋を五感で楽しむコース 原尻の滝 (はらじりのたき) 岡城跡(竹田市) (おかじょうあと) The Vege Cafe Ms. (おかじょうあと) The Vege Cafe Ms. (ペジ・カフェ・ミズ) のこののでのです。 14.67 28.67 31.67 11.33 13.67 0 20 40 60 80 100 - 大いに行きたい やや行きたい いどちらかといえば行きたい やや行きたくない - 行きたくない	o
C Urban and Regional Management Course, Department of Business and Economics, 23 School of Business and Economics, Nigpon Burri University	B





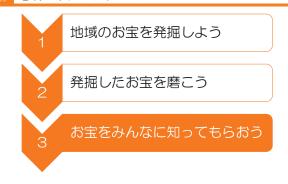
 Urban and Regional Management Course, Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

U 背景



C Urban and Regional Management Course, Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

地域マネジメントコース



22

18



BU シンポジウムでの発表

2016年11月19日(土)(於:大分銀行宗麟館2階ホール) 2016年ものがたり観光行動学会第6回年次大会九州広域観光シンボジウム 「普段使いのローカル線『沿線の日常』が注目される観光の時代」 (主催:ものがたり観光行動学会、日本文理大学)において学生発表 学生の視点で豊後大野市の魅力を写真や動画におさめ、動画編集を行うと同時に、 ポスターを制作し、「豊後Den説」として発表しました。





© Urban and Regional Management Course, Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Burni University







Urban and Regional Management Course, Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University



2016年6月4日

本佐上コミュニティーセンター (旧木佐上小学校の地域振興のための利用)



C Urban and Regional Management Course, Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

SU 講義の目的

- ・ 豊後大野の現状
 - 「おんせん県おおいた」といわれているが温泉のない地域はどうなっているのか?
 - ・様々な伝統や文化があるがあまり知られてない。

・ 講義の目的

実際に現地に赴き、様々な体験や現地ガイドのコーディネイトを通じて、豊後大野の現状や抱えている課題、地域の隠れた魅力を理解、発見し、観光客を誘客する実現可能なプランを作成し、実現への布石を行う。

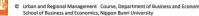


学生研究報告 2016年度

Martin Barris Contraction Cont

© Urban and Regional Management Course, Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

PR動画、ポスター、パンフ



30

32



all

© Urban and Regional Management Course, Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

37





34

36

38



© Urban and Regional Management Course, Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University





O Urban and Regional Management Course, Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University

NUU サービスラーニングII(地域)講義日程
・場所:18A51教室 ・第1、第3、第5木曜日 4限目 第2回 6/1 第3回 6/15 第4回 6/29 第5回 7/6 第6回 7/20 第7回 8/3
合宿 8月28(月)-30日(木) 合宿は申し込みが必要です。
合宿後の履修中止はできません。 不明な点は今西、舛田まで
Urban and Regional Management Course, Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Burn' University

サービスラーニング II ガイダンス

講義概要

本科目では、平成 28 年度 1 年次に対して開講したサービスラーニング IA、IB を踏まえ、 豊後大野に点在するジオパークや磨崖仏、歴史的建造物、食がなぜ顕在化されないのかにつ いて、まちづくりマーケティング論、観光ビジネス論などの学問の知識を用いて、より科学 的な手法で洗い出し、モデルを構築し、研究報告会などで報告する。

講義日程案

第1·第3木曜4限目

別途、観光学入門を履修することが望ましい。

- ・第1回 豊後大野の課題を洗い出す。(報告会の発表)
 - ・ 観光まちづくりコンテストエントリー (5月19日)
- ・グループ編成
- ・グループごとの課題設定
- ·現地視察
- ・現地合宿

講義内容

現地視察、ディスカッション、発表

履修上の注意

合宿は宿泊施設の予約の関係で、参加の可否を <u>5 月 31 日</u>までにアンケートフォームか ら回答して下さい。履修生が宿泊施設収容人数を超えていますので、1 年次履修者を優 先します。

アンケートフォームは

http://www.nbu.ac.jp/~imanishi/

または、「今西研究室 NBU」で検索して、サービスラーニング II のリンクから 回答して下さい。その他、18 号館掲示板にて随時案内の掲示をします。掲示板に注意し て下さい。

- 1. 不明な点があれば、今西・舛田まで連絡下さい。
 - (ア)今西 19号館2階 <u>imanishimm@nbu.ac.jp</u>
 - (イ)舛田 18号館3階 <u>masudayh@nbu.ac.jp</u>



• 場所: 18A51 教室 • 第1、第3、第5木曜日 4限目 第2回 6/1 第3回 6/15 第4回 6/29 第5回 7/6 第6回 7/20 第7回 8/3 合宿 8月28(月)-30日(木) 合宿は申し込みが必要です。 合宿後の履修中止はできません。 不明な点は今西、舛田まで



© Urban and Regional Management Course, Department of Business and Economics, School of Business and Economics, Nippon Bunri University